

- 1日 ○自販連、4月の国内新車販売台数を発表
国内新車販売台数(含む軽)は、36万6,155台で前年比+3.2%と7か月ぶりのプラス
国内新車販売台数(除く軽)は、22万5,390台で前年比+0.5%と7か月ぶりのプラス
- 米供給管理協会、4月のISM景況指数(製造業)を発表
総合指数は57.3%と前月(59.3%)から低下
- 2日 ○FRB(米連邦準備制度理事会)、FOMC(米連邦公開市場委員会)を開催(1日～)
・政策金利の誘導目標レンジを据置き(1.50～1.75%)
・声明文において足もとの物価に関する表現を上方修正
・声明文において物価目標が「対称的(symmetric)」であるとの表現を追加(1か所→2か所に増加)
- EU統計局、ユーロ圏の2018年1-3月期GDP(1次速報)を発表
実質GDP成長率は季調済前期比+0.4%(年率+1.7%)
- 4日 ○米労働省、4月の雇用統計を発表
非農業部門の雇用者数は前月比16.4万人増、過去2か月分は修正(3月分は同13.5万人増(+3.2万人)に上方修正、2月分は同32.4万人増(△0.2万人)に下方修正)
失業率は3.9%と前月(4.1%)から低下
- 8日 ○総務省、3月の家計調査(二人以上の世帯)を発表
実質消費支出は前年比△0.7%と2か月連続の減少、季調済前月比は△0.1%と2か月連続の減少(ともに、調査方法の変更の影響による変動を調整した推計値)
基調判断は「持ち直しの動きに足踏みがみられる」とし、据置き
- 中国海関総署、4月の貿易収支を発表
貿易収支は288億ドルと2か月ぶりの黒字、輸出は2,004億ドルで前年比+12.9%と2か月ぶりのプラス、輸入は1,717億ドルで前年比+21.5%と18か月連続のプラス
- 9日 ○厚生労働省、3月の毎月勤労統計(速報)を発表
現金給与総額は前年比+2.1%で8か月連続の増加(うち所定内給与は同+1.3%、うち所定外給与は同+1.8%、うち特別給与は同+12.8%)
- 内閣府、3月の景気動向指数(CI)(速報)を発表
先行指数は105.0(前月差△0.9ポイント)で2か月ぶりの下落、一致指数は116.4(前月差+0.4ポイント)で2か月連続の上昇、遅行指数は118.0(前月差△0.4ポイント)で8か月ぶりの下落、基調判断は「改善を示している」とし、前月から据置き
- 10日 ○財務省、3月の国際収支状況(速報)を発表
経常収支は3兆1,223億円、前年比+1,264億円(黒字幅拡大)で45か月連続の黒字
- 東京商工リサーチ、4月の全国企業倒産状況を発表
倒産件数は650件(前年比△4.4%)と2か月ぶりに前年比マイナス、負債総額は954億円(同△8.2%)、倒産企業の従業員数は3,318人(同△18.4%)、上場企業倒産は0件
- 内閣府、4月の景気ウォッチャー調査を発表
景気の現状判断DIは前月差+0.1ポイントの49.0となり2か月連続の上昇、先行き判断DIは前月差+0.5ポイントの50.1となり6か月ぶりの上昇
景気現状の基調判断は「緩やかな回復が続いている。先行きについては、人手不足、コストの上昇等に対する懸念もある一方、引き続き受注、設備投資等への期待がみられる」とし、前月から据置き
- 米労働省、4月の消費者物価指数を発表
総合指数は前年比+2.5%、前月比+0.2%、食品とエネルギーを除いたコア指数は前年比+2.1%、前月比+0.1%
- 中国国家統計局、4月の消費者物価上昇率を発表
総合指数は前年比+1.8%で前月(+2.1%)から伸びが鈍化
- イングランド銀行(BOE)、金融政策委員会を開催し、以下を決定
・政策金利0.50%に据置き
・資産買入れ枠を維持(4,450億ポンド)
- 11日 ○日本銀行、4月のマネーストック(速報)を発表
M2は前年比+3.3%、M3は同+2.8%、広義流動性は同+2.9%
- 14日 ○日本銀行、4月の企業物価指数(速報)を発表
前年比+2.0%となり、16か月連続のプラス
- 15日 ○米商務省、4月の小売売上高を発表
総合は季調済前月比+0.3%、過去2か月分は上方修正(3月は同+0.6%→+0.8%、2月は同△0.1%→+0.0%)
変動の大きい自動車・建築資材等を除くコアベースは同+0.3%
- 独連邦統計局、2018年1-3月期GDP(速報)を発表
実質GDP成長率は季調済前期比+0.3%、年率+1.2%
- 16日 ○内閣府、2018年1-3月期のGDP(1次速報)を発表
実質GDP成長率は、季調済前期比△0.2%(年率換算△0.6%)となり、9四半期ぶりのマイナス成長
名目GDP成長率は、同△0.4%(年率換算△1.5%)となり、6四半期ぶりのマイナス成長
GDPデフレーターは、同△0.2%となり2四半期連続のマイナス、前年比は+0.5%と3四半期連続のプラス
- 米FRB、4月の鉱工業生産を発表
生産は季調済前月比+0.7%となり、過去2か月分は修正(3月分は上方修正(同+0.5%→+0.7%)、2月分は下方修正(同+1.0%→+0.4%))
- 米商務省、4月の住宅着工件数を発表

日誌

(5 月 中)

<p>前月比△3.7%の季調済年率128.7万件</p> <p>17日 ○内閣府、3月の機械受注統計を発表 民需(除く船舶・電力)は季調済前月比△3.9%と3か月ぶりの減少 基調判断は「持ち直しの動きがみられる」とし、前月から据置き</p>	<p>29日 ○総務省、4月の労働力調査を発表 完全失業率(季調済)は2.5%で前月と同水準 雇用者数(原数値)は5,916万人で前年比159万人の増加 完全失業者数(同)は180万人で前年比17万人の減少</p>
<p>18日 ○総務省、4月の消費者物価指数を発表 生鮮除く総合は前年比+0.7%と16か月連続のプラス</p>	<p>○厚生労働省、4月の一般職業紹介状況を発表 有効求人倍率(季調済)は1.59倍となり、前月から横ばい、雇用情勢の基調判断は「着実に改善が進んでいる」として2015年8月以来32か月連続据置き</p>
<p>21日 ○平成30年第6回経済財政諮問会議を開催 「金融政策、物価等に関する集中審議」、「経済・財政一体改革(社会保障)」、「経済・財政一体改革(インセンティブ改革、見える化、横展開等)」について議論</p> <p>○財務省、4月の貿易統計(速報)を発表 輸出は自動車、船舶等が増加し、前年比+7.8%の6兆8,223億円、輸入は原油、原動機等が増加し、同+5.9%の6兆1,963億円、貿易収支は6,260億円で2か月連続の黒字</p>	<p>30日 ○経済産業省、4月の商業動態統計を発表 小売業販売額は前年比+1.6%で6か月連続の増加、季調済前月比は+1.4%で2か月ぶりの増加 基調判断は「横ばい傾向にある小売業販売」とし据置き</p> <p>○米商務省、2018年1-3月期のGDP(2次速報)を発表 実質GDP成長率は前期比年率+2.2%(1次速報+2.3%から下方修正)</p>
<p>23日 ○政府、5月の月例経済報告を発表 景気の基調判断を「景気は、緩やかに回復している」とし、前月から据置き</p> <p>○米商務省、4月の新築住宅販売件数を発表 前月比△1.5%の季調済年率66.2万件</p>	<p>31日 ○経済産業省、4月の鉱工業指数(速報)を発表 生産は季調済前月比+0.3%、出荷は同+1.8%、在庫は同△0.4% 基調判断は「生産は緩やかに持ち直している」とし据置き</p>
<p>24日 ○米商務省、4月の中古住宅販売件数を発表 前月比△2.5%の季調済年率546万件</p> <p>○独連邦統計局、2018年1-3月期GDP(確報)を発表 実質GDP成長率は季調済前期比+0.3%、年率+1.2%</p>	<p>○国土交通省、4月の建築着工統計を発表 住宅着工総戸数(原数値)は、84,226戸(前年比+0.3%)と10か月ぶりのプラス、季調済年率は99.2万戸(前月比+10.9%)と2か月ぶりのプラス</p>
<p>25日 ○米商務省、4月の耐久財受注を発表 新規受注は前月比△1.7%、設備投資計画の先行指数とされるコア(航空機を除く)非国防資本財受注は前月比+0.9%</p> <p>○英政府統計局、2018年1-3月期のGDP(2次)を発表 実質GDP成長率は前期比+0.1%(年率+0.4%)となり、1次速報から変更なし</p>	<p>○中国国家统计局、5月の製造業PMI(購買部担当者指数)を発表 総合指数は51.9ポイントと前月(51.4ポイント)から上昇、22か月連続で製造業活動の拡大・縮小の分岐点である50ポイントを上回った</p>
<p>28日 ○平成30年第7回経済財政諮問会議を開催 「経済・財政一体改革(PB黒字化目標年とその実現に向けた考え方について)」、「骨太方針の骨子案について」を議論</p>	<p>東証株価指数(TOPIX)第1部(終値) 月間最高値 1,815.25(18日) 〳 最安値 1,736.13(30日) 日経平均株価(終値) 月間最高値 23,002.37円(21日) 〳 最安値 22,018.52円(30日) 東京外為市場(ドル・円相場、銀行間直物、17時時点) 月間最高値 108.73円(30日) 〳 最安値 111.36円(21日)</p>